

2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社ネオマーケティング 上場取引所 東
 コード番号 4196 URL <https://www.neo-m.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 光伸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 森田 尚希 (TEL) 03-6328-2880
 定時株主総会開催予定日 2022年12月23日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2022年12月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期の連結業績 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|------|------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年9月期 | 2,251 | 23.1 | 280 | △7.6 | 280 | △2.3 | △280 | — |
| 2021年9月期 | 1,829 | 28.1 | 303 | 74.8 | 286 | 65.0 | 206 | 76.6 |

(注) 包括利益 2022年9月期 △280百万円(—%) 2021年9月期 204百万円(75.4%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年9月期 | △112.35 | — | △42.5 | 19.6 | 12.5 |
| 2021年9月期 | 88.79 | 86.30 | 40.8 | 23.1 | 16.6 |

- (注) 1. 2021年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2021年4月22日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場したため、新規上場日から2021年9月期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 2. 2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。
 3. 当社は、2021年3月2日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年9月期 | 1,359 | 522 | 38.4 | 207.81 |
| 2021年9月期 | 1,500 | 797 | 53.1 | 325.58 |

(参考) 自己資本 2022年9月期 522百万円 2021年9月期 797百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年9月期 | 140 | △579 | 193 | 679 |
| 2021年9月期 | 278 | △1 | 171 | 925 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2022年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2023年9月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|-------|------|------|-----|------|-----|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 2,500 | 11.1 | 300 | 7.0 | 300 | 7.1 | 200 | — | 79.58 |

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年9月期 | 2,513,200株 | 2021年9月期 | 2,448,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年9月期 | 24株 | 2021年9月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2022年9月期 | 2,498,046株 | 2021年9月期 | 2,320,082株 |

(注) 当社は、2021年3月2日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算出しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年9月期の個別業績（2021年10月1日～2022年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年9月期 | 2,058 | 20.4 | 283 | 10.5 | 288 | 18.0 | △305 | — |
| 2021年9月期 | 1,708 | 28.9 | 256 | 75.9 | 244 | 48.4 | 173 | 47.6 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2022年9月期 | △122.15 | | — | | | | | |
| 2021年9月期 | 74.71 | | 72.61 | | | | | |

- (注) 1. 2021年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2021年4月22日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場したため、新規上場日から2021年9月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 2022年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。
3. 当社は、2021年3月2日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年9月期 | 1,329 | 521 | 39.2 | 207.58 |
| 2021年9月期 | 1,504 | 820 | 54.6 | 335.34 |

(参考) 自己資本 2022年9月期 521百万円 2021年9月期 820百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (会計方針の変更) | 11 |
| (表示方法の変更) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (1株当たり情報) | 12 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「～Make Everyone Wonderful～私たちは人の心を満たす商品・サービスがあふれる社会を目指している」をビジョンに掲げ、企業のマーケティング活動を強力に支援するサービスを包括的に提供しております。

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、行動制限や新規入国制限の緩和措置などにより社会経済活動の正常化に向けた動きが見られましたが、内外金利差を背景とした円安の進行や世界情勢の緊迫化による資源価格の高騰から消費者物価指数の上昇が進む等、経済の見通しは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、従業員の安全・安心を守る施策として、始業前の全従業員への非接触型検温測定の義務付け、二酸化炭素濃度測定器及びサーキュレーター導入による換気と密の回避、全社的なテレワークの推奨と体制構築等の対策について、2020年よりグループ一丸となって取り組んでおります。

当社グループのメインの顧客層である製造業のお客様においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は他業種との比較において軽微であり、現時点の経済活動状況を前提とした場合に、当社グループが業績面において受ける影響は限定的と考えております。中長期的には社会がWithコロナ時代に適合していく過程の中で、変化した生活者の意識や消費行動を捕捉していく必要性から、当社グループが提供するマーケティングサービスの需要が継続して発生していくものと予想しております。

このような状況の中、当期は受注体制とサービス提供体制の拡充、及び営業活動強化に向けた先行投資に注力いたしました。カスタマーサクセス拠点として横浜オフィスを新たに設置し、クライアント企業の商品やサービスを利用されているお客様を専任スタッフがきめ細かくサポートする体制を構築しました。沖縄なはマーケティングラボにおいては、データ処理やコールセンターのサービス提供体制を拡充するための増床移転等、さらなる受注体制の基盤整備に取り組みました。また、サービス提供の強化の取り組みといたしましては、優良なコンテンツを制作し顧客企業やブランドの効果的な訴求を支援するコンテンツマーケティングサービスを新たに当社グループに取り込みました。

営業活動強化の取り組みといたしましては、マーケティングコンサルタント職を中心に積極的な採用活動を実施し、福岡営業所と札幌営業所をあらたに開設し営業活動を開始いたしました。

これらの施策により、取引社数が増加し顧客単価も上昇したことで売上高は増加いたしました。一方で、第4四半期連結会計期間において、株式会社Zeroののれんを減損したため、親会社株主に帰属する当期純利益を減少させることとなりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,251,134千円（前年同期比23.1%増）、営業利益280,386千円（同7.6%減）、経常利益280,059千円（同2.3%減）、親会社株主に帰属する当期純損失280,654千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益206,002千円）となりました。

なお、当社グループはマーケティング支援事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産につきましては、1,359,655千円となり、前連結会計年度末に比べ140,858千円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加55,267千円、事業譲受によるのれんの増加16,486千円があったものの、現金及び預金の減少216,302千円、仕掛品の減少18,363千円があったことによるものです。

(負債)

負債につきましては、837,403千円となり、前連結会計年度末に比べ133,909千円増加いたしました。これは主に、返済による長期借入金の減少111,720千円、前受金の減少71,682千円、未払金の減少12,368千円、未払法人税等の減少11,161千円があったものの、買掛金の増加31,252千円、新規借入による短期借入金の増加300,000千円があったことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、522,251千円となり、前連結会計年度末に比べ274,767千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失280,654千円の計上による利益剰余金の減少があったためです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ246,302千円減少し、679,248千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュフローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは140,354千円の収入(前期は278,967千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失173,724千円、前受金の減少71,682千円、法人税等の支払115,055千円があったものの、減損損失の発生451,828千円、のれん償却額51,952千円があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは579,823千円の支出(前期は1,139千円の支出)となりました。これは主に、定期預金の預入30,000千円、事業譲受による支出55,290千円、子会社株式の取得による支出479,961千円があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは193,165千円の収入(前期171,377千円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出111,720千円があったものの、新規借入による収入300,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入5,945千円があったためです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしまして、日本国内における新型コロナウイルスの感染状況については将来予測が困難な状況であるものの、感染症対策と社会経済活動を両立させていくという政府の方針のもと、日本経済は漸進的に持ち直していくことが期待されます。当社グループのメインの顧客層である製造業のお客様は他業種との比較において新型コロナウイルス感染症拡大の影響が軽微であり、当社グループが業績面において受ける影響は限定的であります。中長期的に社会がWithコロナ時代に適合していく過程で、変化していく生活者の意識や消費行動を捕捉する必要があることから、当社グループが提供するマーケティングサービスの需要が喚起されていくものと予想しております。

2023年9月期も継続して、人材の採用と育成、新規顧客獲得のためのマーケティング活動に取り組んでまいります。特に顧客との接点となるマーケティングコンサルタントの採用と育成に注力いたします。育成の具体的な取り組み内容としましては、顧客の担当者様自身も気付いていない本質的なニーズ(当社グループではこれを「核心ニーズ」と定義しています)を顧客との商談の中から汲み取るための研修を実施いたします。

顧客の核心ニーズを基に、独自で開発した「マーケティングフレームワーク4K」に基づいてクロスセル・アップセルの提案活動を実行し、顧客1社あたりの売上・顧客単価の向上を図ります。

マーケティング活動の具体的な取り組みとしましては、認知率向上と営業リード獲得を目的としてマーケティングイベントへの出展、マーケティングノウハウを提供するウェブセミナーの実施、顧客の成功事例の蓄積と発信等の取り組みを強化いたします。

それらの状況を勘案したうえで、翌連結会計年度の業績の見通しにつきましては、売上高2,500百万円(当期比11.1%増)、営業利益300百万円(同7.0%増)、経常利益300百万円(同7.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益200百万円(当期は280百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)と見込んでおります。

また、上記の業績見通しは現時点において入手可能な情報に基づき策定したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年9月30日) | 当連結会計年度 (2022年9月30日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 925,551 | 709,248 |
| 受取手形及び売掛金 | 228,181 | 283,448 |
| 仕掛品 | 44,648 | 26,284 |
| 貯蔵品 | 6,795 | 9,085 |
| その他 | 48,789 | 56,119 |
| 貸倒引当金 | △59 | △102 |
| 流動資産合計 | 1,253,906 | 1,084,083 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 26,807 | 36,764 |
| 減価償却累計額 | △11,369 | △10,542 |
| 建物(純額) | 15,438 | 26,221 |
| リース資産 | 2,913 | 2,913 |
| 減価償却累計額 | △996 | △1,579 |
| リース資産(純額) | 1,916 | 1,333 |
| その他 | 15,087 | 15,236 |
| 減価償却累計額 | △10,916 | △11,956 |
| その他(純額) | 4,170 | 3,279 |
| 有形固定資産合計 | 21,525 | 30,835 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 130,035 | 146,522 |
| ソフトウェア | 9,868 | 6,886 |
| 無形固定資産合計 | 139,904 | 153,409 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 65,054 | 71,873 |
| その他 | 20,122 | 19,453 |
| 投資その他の資産合計 | 85,176 | 91,327 |
| 固定資産合計 | 246,607 | 275,571 |
| 資産合計 | 1,500,514 | 1,359,655 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年9月30日) | 当連結会計年度 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 50,242 | 81,495 |
| 短期借入金 | — | 300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 111,720 | 50,302 |
| 未払金 | 42,056 | 29,687 |
| 前受金 | 88,905 | 17,223 |
| リース債務 | 1,000 | 1,007 |
| 未払法人税等 | 61,012 | 49,850 |
| 未払消費税等 | 33,075 | 33,961 |
| パネルポイント引当金 | 69,522 | 74,751 |
| 未払費用 | 61,419 | 61,092 |
| その他 | 15,058 | 16,285 |
| 流動負債合計 | 534,013 | 715,658 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 167,292 | 116,990 |
| リース債務 | 2,188 | 1,181 |
| 資産除去債務 | — | 3,016 |
| 繰延税金負債 | — | 557 |
| 固定負債合計 | 169,480 | 121,745 |
| 負債合計 | 703,494 | 837,403 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 80,680 | 83,684 |
| 資本剰余金 | 281,150 | 284,090 |
| 利益剰余金 | 435,189 | 154,535 |
| 自己株式 | — | △59 |
| 株主資本合計 | 797,019 | 522,251 |
| 純資産合計 | 797,019 | 522,251 |
| 負債純資産合計 | 1,500,514 | 1,359,655 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,829,276 | 2,251,134 |
| 売上原価 | 909,637 | 1,190,594 |
| 売上総利益 | 919,639 | 1,060,539 |
| 販売費及び一般管理費 | 616,184 | 780,152 |
| 営業利益 | 303,454 | 280,386 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5 | 6 |
| 補助金収入 | 2,288 | 1,425 |
| その他 | 419 | 666 |
| 営業外収益合計 | 2,714 | 2,098 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,824 | 1,886 |
| 支払保証料 | 589 | 536 |
| 上場関連費用 | 17,208 | — |
| その他 | 9 | 3 |
| 営業外費用合計 | 19,631 | 2,426 |
| 経常利益 | 286,536 | 280,059 |
| 特別利益 | | |
| 子会社清算益 | 2,480 | — |
| 特別利益合計 | 2,480 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 451,828 |
| 固定資産除却損 | — | 1,955 |
| 特別損失合計 | — | 453,784 |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | 289,017 | △173,724 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 86,146 | 93,126 |
| 法人税等調整額 | △3,131 | 13,803 |
| 法人税等合計 | 83,015 | 106,929 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | 206,002 | △280,654 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | 206,002 | △280,654 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 当期純利益又は当期純損失 (△) | 206,002 | △280,654 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △1,751 | — |
| その他の包括利益合計 | △1,751 | — |
| 包括利益 | 204,251 | △280,654 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 204,251 | △280,654 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 47,560 | — | 229,186 | △66,610 | 210,136 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 33,120 | 33,120 | | | 66,240 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | 206,002 | | 206,002 |
| 自己株式の処分 | | 248,030 | | 66,610 | 314,640 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | — |
| 当期変動額合計 | 33,120 | 281,150 | 206,002 | 66,610 | 586,882 |
| 当期末残高 | 80,680 | 281,150 | 435,189 | — | 797,019 |

| | その他の包括利益累計額 | | 純資産合計 |
|-------------------------------------|-------------|---------------|---------|
| | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 1,751 | 1,751 | 211,887 |
| 当期変動額 | | | |
| 新株の発行 | | | 66,240 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | 206,002 |
| 自己株式の処分 | | | 314,640 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △1,751 | △1,751 | △1,751 |
| 当期変動額合計 | △1,751 | △1,751 | 585,131 |
| 当期末残高 | — | — | 797,019 |

当連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------------------|--------|---------|----------|------|----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 80,680 | 281,150 | 435,189 | — | 797,019 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 新株の発行 | 3,004 | 2,940 | | | 5,945 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △280,654 | | △280,654 |
| 自己株式の取得 | | | | △59 | △59 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | — |
| 当期変動額合計 | 3,004 | 2,940 | △280,654 | △59 | △274,767 |
| 当期末残高 | 83,684 | 284,090 | 154,535 | △59 | 522,251 |

| | その他の包括利益累計額 | | 純資産合計 |
|-------------------------------------|-------------|---------------|----------|
| | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | — | — | 797,019 |
| 当期変動額 | | | |
| 新株の発行 | | | 5,945 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △280,654 |
| 自己株式の取得 | | | △59 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | — | — | — |
| 当期変動額合計 | — | — | △274,767 |
| 当期末残高 | — | — | 522,251 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | 289,017 | △173,724 |
| 減価償却費 | 8,613 | 8,571 |
| 減損損失 | — | 451,828 |
| のれん償却額 | 16,966 | 51,952 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 13 | △42 |
| パネルポイント引当金の増減額(△は減少) | 11,822 | 5,229 |
| 上場関連費用 | 17,208 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △5 | △6 |
| 支払利息 | 1,824 | 1,886 |
| 子会社清算損益(△は益) | △2,480 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △33,786 | △40,947 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △26,822 | 16,073 |
| 固定資産除却損 | — | 1,955 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 74,771 | △71,682 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △28,028 | △5,938 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 12,775 | 28,102 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 11,987 | △15,969 |
| 小計 | 353,878 | 257,290 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5 | 6 |
| 利息の支払額 | △1,824 | △1,886 |
| 法人税等の支払額 | △73,092 | △115,055 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 278,967 | 140,354 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △30,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,080 | △12,168 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,090 | △1,680 |
| 出資金の回収による収入 | 100 | — |
| 差入保証金の差入による支出 | △3,282 | △722 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △479,961 |
| 事業譲受による支出 | — | △55,290 |
| 子会社の清算による収入 | 10,213 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,139 | △579,823 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | — | 5,945 |
| 短期借入れによる収入 | — | 300,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △191,385 | △111,720 |
| 上場関連費用の支出 | △17,208 | — |
| 株式の発行による収入 | 66,240 | — |
| 自己株式の取得による支出 | — | △59 |
| 自己株式の処分による収入 | 314,640 | — |
| その他 | △908 | △1,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 171,377 | 193,165 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △113 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 449,092 | △246,302 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 476,458 | 925,551 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 925,551 | 679,248 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより当連結会計年度の損益に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これにより当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、従来「流動負債」の「ポイント引当金」と表示していた科目名称を、直近の状況を鑑み、より実態に即した明瞭な表示とするために、当連結会計年度より「パネルポイント引当金」に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において掲記していた「ポイント引当金の増減額(△は減少)」は、連結貸借対照表と表示を合わせるため、当連結会計年度から「パネルポイント引当金の増減額(△は減少)」に科目名称を変更しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、マーケティング支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日) |
|---------------------------|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 325.58円 | 207.81円 |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△) | 88.79円 | △112.35円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 86.30円 | — |

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。
2. 当社は、2021年3月2日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△) | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | 206,002千円 | △280,654千円 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | 206,002千円 | △280,654千円 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 2,320,082 | 2,498,046 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 67,009 | 89,637 |
| (うち新株予約権にかかる増加数(株)) | (67,009) | (89,637) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | — | — |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。